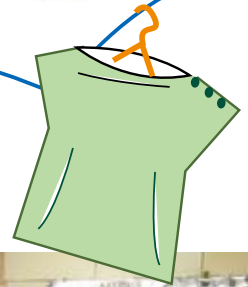


リサイクル♥リユース♥チャリティー

2017. 夏

WE21 ジャパンいずみ 1.2.3



衣類の行方は？

余計なものは買わない
買ったなら活かす

— ナカノ工場見学報告

7月5日（水）、WE ショップいずみ中田店・領家店・萩丸店の3店舗のスタッフとボランティア20人で、見学ツアーを行いました。見学場所は、WE21 ジャパン綾瀬エコものセンター（物流倉庫）、（株）ナカノ秦野工場、WE21 ジャパン厚木荻野店。



仕分け作業中（ナカノ工場）

綾瀬エコものセンターの役割

エコものセンターは物流の要として、ショップにはなくてはならないセンターです。ショップに提供

された衣類は季節ごとに選別し管理します。運搬や梱包作業は男性従業員が行っていました。

私たちに出来る身近なことは、余計なものは買わないこと、買ったなら活かすことです。

回収率は上がってきているものの、まだまだ資源として活用されず燃やされている現状を聞き、WE ショップの役割は大きいと感じました。



エコものセンター

された衣類は季節ごとに選別し管理します。汚れ、ほつれなどがあって、お店には出せなかった衣類はファイバーリサイクル品として活用するために保管し、陶器やガラス食器も、再生工場へ搬入するために保管をしています。また、全国からの寄付品にも対応しています。

公正・公平な社会を

最後に訪れたWE ショップ厚木荻野店は、寄付品販売の他に、毎月28の日には店頭で「マルシェ」として、地場のお野菜などの販売やフェアトレード品、リメイク品、東北地方の物産品の販売などに取り組んでいます。

他ショップを訪問しての情報交換と交流は私たちにとっても大きな励みになります。神奈川県内に54店舗あるWE ショップは、このように連携しながらささやかでも世界の公正・公平な社会をめざしていきたいと思

ファイバーリサイクルの牽引役

（株）ナカノは、ファイバー（繊維）リサイクル業界の牽引役です。ショップの寄付品の中で、販売できなかった衣類は全てここに運ばれます。

訪れた秦野工場は選別仕分けセンターとして、家庭や国内繊維メーカー、アパレル会社からの衣類、毛布やカーテン等、一日10tを240種類に仕分けし、100キロずつ梱包し、海外へ輸出。ウエス（工場用掃除布）や反毛材料にリサイクルして100%近くを有効活用しています。現場では女性従業員が蒸し暑



参加者

（理事 芝宮）

